

北富士、東富士演習場における自衛隊と米軍の演習について 過去5年の演習内容(部隊、期間、参加人数)、その目的、使用武器、変化の特徴など AI から

過去5年分なので、防衛省・自治体・報道などで確認できる範囲を突き合わせます。北富士・東富士は公表粒度に差があるため、「確認できた事実」と「非公表・不明」を分けて整理

以下は公表資料で確認できる範囲です。人数・砲数は米軍 104 移転訓練では比較的公表されていますが、日米共同・米海兵隊訓練では細部が非公表のものもあります。

1. 主な演習・訓練の一覧

年	演習場	主体	内容・期間	部隊・人数	使用武器・装備
2021	北富士	米軍	沖縄県道 104 号線越え 155 ミリ榴弾砲訓練の移 転。4 月中旬～下旬、射 撃 11 日間・射撃日 9 日	大隊レベル、 約 500 人、 車両約 120 両	155 ミリ榴弾砲 12 門
2021	北富士・東 富士周辺 /Camp Fuji	米海 兵隊 + 陸 自	Shinka 演習開始。富士地 区を島しょに見立てた対 抗訓練	米海兵隊歩 兵大隊の一 部、陸自部 隊訓練評価 隊など	小火器、交戦訓練 装置、ヘリ等。島し よ防衛想定
2022	Camp Fuji/ 富士地区	米海 兵隊	Shinka 22.1、6 月 1 日～ 30 日	米海兵隊第 3 大隊第 2 海兵連隊、 UDP 展開	MV-22、F-35B によ る近接航空支援訓 練、負傷者後送等
2023	東富士	米軍	104 移転訓練。7 月 15 日 ～28 日、射撃 12 日間・ 射撃日 10 日	大隊レベル、 約 460 人、 車両約 100 両	155 ミリ榴弾砲 6 門

年	演習場	主体	内容・期間	部隊・人数	使用武器・装備
2023	北富士・東富士 /Camp Fuji	米海兵隊	SIFEX24、11月15日～12月15日	第2海兵連隊第2大隊、第7海兵連隊第2大隊など	CH-53E、MV-22B、AH-1Z、近接航空支援、負傷者後送、補給訓練
2024	北富士	米軍	104 移転訓練。5月15日～24日、射撃10日間・射撃日8日	中隊レベル、約300人、車両約80両	155ミリ榴弾砲5門
2025	東富士	米軍	104 移転訓練。9月9日～18日、射撃10日間・射撃日8日	中隊レベル、約340人、車両約60両	155ミリ榴弾砲6門
2025	北富士	米軍	104 移転訓練。11月25日～12月5日、射撃11日間・射撃日9日	大隊レベル、約600人、車両約150両	155ミリ榴弾砲12門
2025	東富士	米海兵隊	HIMARS 射撃訓練、10月27日	第3海兵師団系部隊	高機動ロケット砲システム HIMARS。予備日10月28・29日
2026	東富士	米海兵隊	HIMARS 射撃訓練、5月20日	米海兵隊、陸自と調整	HIMARS 演習弾12発、「射撃して移動する」訓練

2. 目的

大きく3種類あります。

第一に、沖縄の負担軽減名目の104移転訓練です。沖縄県道104号線越え155ミリ榴弾砲実弾射撃訓練を、本土5演習場へ分散して行うもので、北富士・東富士も対象です。中心は155ミリ榴弾砲の射撃ですが、砲の展開・陣地防御なども一体の訓練とされています。

第二に、島しょ防衛・第一列島線での作戦訓練です。米海兵隊の Shinka や SIFEX は、北富士・東富士・Camp Fuji を「島しょ」や沿海域機動の場に見立て、ヘリ・オスプレイで侵入、陸上戦闘、再展開する内容に変化しています。

第三に、長射程火力・機動火力の訓練です。2025 年以降の HIMARS 訓練は、従来の榴弾砲中心から、ロケット砲を短時間で展開・射撃・移動する「shoot and scoot」型へ進んでいます。

3. 自衛隊側の主な演習

東富士では毎年、富士総合火力演習が行われています。2021・2022 年は島しょ侵攻対処を焦点にし、2023 年は「領域横断作戦下における島嶼侵攻対処」、対艦戦闘、着上陸侵攻阻止、水陸両用・空挺作戦、海空自衛隊との連携を展示しました。2024 年は火器性能と諸職種協同の火力戦闘、2025 年は対戦車火器・砲迫火力、諸職種協同、将来装備品展示が特徴です。

4. 変化の特徴

もっとも大きな変化は、「砲撃訓練の場」から「島しょ戦・対中国抑止を想定した複合訓練の場」へ性格が変わっていることです。防衛研究所も、富士地区の演習は基本的な射撃訓練から、島しょ部の陸上戦闘、沿海域機動、海兵空地任務部隊全体を使う演習へ重要性を増していると分析しています。

次に、使用兵器が 155 ミリ榴弾砲中心から、HIMARS、MV-22、CH-53E、AH-1Z、F-35B 連携などへ広がっていることです。特に HIMARS は東富士での実射が 2025 年、2026 年と続き、地元への影響や国道規制も問題化しています。

結論として、北富士・東富士はこの 5 年で、沖縄海兵隊の砲撃移転訓練の受け皿であるだけでなく、第一列島線・台湾有事を意識した日米共同の実戦的訓練拠点としての性格を強めています。